

# 製品安全データシート

作成日：2015年10月09日

改訂日：2024年03月14日

確認日：2024年03月14日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 [構成品名]	SG キャリブレーター [SG キャリブレーター L、SG キャリブレーター M、 SG キャリブレーター H]
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 FAX：(078) 991-1917
緊急連絡電話番号	TEL：(078) 991-1911
推奨用途	体外診断用医薬品として使用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する。

## 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない 他の有害危険性	該当しない

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分の化学名	本製品は、安衛法、化管法、毒劇法に該当する物質を閾値以上含んでいません。
濃度又は濃度範囲	
CAS 番号	-

## 4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水、シャワーで洗うこと。炎症を生じたとき

眼に入った場合	は医師の手当を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で十分に口の中を洗浄し、必要があれば医師の手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし 適切な保護具を着用する。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	水、粉末、泡、炭酸ガス 該当なし 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	ヘルメット、保護めがね、防塵・防毒マスク
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 環境に対する注意事項	作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。 漏出物を河川等に直接流してはいけない。大量の水で希釈する場合には、排水が適切に処理されずに環境へ流出することがないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りのウエス、雑巾などでよく拭き取る。土砂等（の不燃物）で囲って抽出を防止し、スコップ又は吸引機等で空容器に回収する。漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。
二次災害の防止策	情報なし
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い 安全取扱注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
衛生対策	特になし
保管 安全な保管条件	特になし
安全な容器包装材料	ガラス容器
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等 設備対策	未設定 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具 呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。

手・皮膚の保護具  
眼、顔面の保護具  
特別な注意事項

適切な保護手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。

### 9.物理的及び化学的性質

物理状態  
色  
  
臭い  
融点／凝固点  
沸点又は初溜点及び沸騰範囲  
可燃性  
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界  
引火点  
自然発火点  
分解温度  
pH  
動粘性率  
溶解度  
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)  
蒸気圧  
密度及び／又は相対密度  
相対ガス密度  
粒子特性  
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)

液体  
**Low:** うすい黄色  
**Middle:** 淡いくすんだオレンジ色  
**High:** 濃いピンク  
特になし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

### 10.安定性及び反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

データなし  
安定  
データなし  
日光、熱  
データなし  
データなし

### 11. 有害性情報

急性毒性  
皮膚腐食性／刺激性  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性  
呼吸器感作性又は皮膚感作性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性

情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし
その他の情報	情報なし
<b>12. 環境影響情報</b>	
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし
<b>13. 廃棄上の注意</b>	
<p>化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報</p> <p>残余廃棄物</p> <p>付着している汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。</p> <p>上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。</p> <p>空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。</p>
<b>14. 輸送上の注意</b>	
<p>国際規制</p> <p>航空規制情報（ICAO/IATA）</p> <p>国連番号</p> <p>品名（国連輸送名）</p> <p>国連分類（危険有害性クラス）</p> <p>容器等級</p> <p>海上規制情報（IMO）</p> <p>国連番号</p> <p>品名（国連輸送名）</p> <p>国連分類（危険有害性クラス）</p> <p>容器等級</p> <p>海洋汚染物質</p> <p>MARPOL73/78 付属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質</p> <p>国内規制</p> <p>航空規制情報</p> <p>海上規制情報</p> <p>陸上規制情報</p> <p>輸送又は輸送手段に関する特別の安全策</p>	<p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>非該当</p> <p>輸送危険物には該当しない</p> <p>輸送危険物には該当しない</p> <p>輸送危険物には該当しない</p> <p>データなし</p>

15. 適用法令	
薬機法	体外診断用医薬品
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
略語	ICAO: 国際民間航空機関 (International Civil Aviation Organization) IATA: 国際航空運送協会 (International Air Transport Association) IMO: 国際海事機関 (International Maritime Organization) IBC コード: 国際バルクケミカルコード (International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk) 薬機法: 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 安衛法: 労働安全衛生法 化管法: 化学物質排出把握管理促進法 毒劇法: 毒物及び劇物取締法 化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
データの主要な文献参照と出典	情報なし